

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所（放課後等デイサービス）				公表日	2025年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	運動部屋を解放することでクリアできていると思う。	引き続き、利用人数や活動に合わせた活用を心がけていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	人員不足だと感じる。受け入れ時の混雑には応援を要請して対応している。予期せぬ職員の休みが出た時に対応が困る。	基準配置は適正に配置しているが、個別対応が必要な場面があるので、人員配置の充実を今後も検討していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	視覚提示や、一日の流れを前もって伝えておくなど、特性に合わせた関りができているのではないか。	引き続き、より良い療育に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	湿気が多い（梅雨・夏場）が、除湿器等の工夫がしてある。広く使用したいときには部屋のパーテーションを外す。床のマット交換を2年に1回実施や、空調整備のメンテナンス等。	引き続き、より良い療育に努めています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	各部屋に分かれてよいと思う。個室がいくつかあって必要に応じて使うことができている。	引き続き、より良い療育に努めています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	機会は設けてあるが、改善はされていない。皆で内容等を省みて意見交換を行う。	改善に至るプロセスを見直し次年度に計画していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		第三者委員については検討中です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	定期的に実施されていて良いと思う。	引き続き、研修計画・実行に努めています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	公表まで実施予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	利用児に合った支援計画であるが、アップデートの時期の検討も必要だと思う。	目標達成や課題発生時には児童発達支援管理責任者を中心にカンファレンスを行い支援計画の見直しを行っています。引き続き、適切な支援計画になるよう努めています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	モニタリングの情報共有、個別支援計画についての話し合いを行い、どのような支援が出来るか協議している。	引き続き、より良い療育に努めています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	個別支援計画の内容の共有をスタッフ間で行なっている。	引き続き、より良い療育に努めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	Hugを用いての記録などで状況を共有できている。皆で常に共有できている。	引き続き、より良い療育に努めています。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		個別支援計画に「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」に必要な項目を設定し、支援内容の設定をしています。今後も共有に努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	活動担当が立案し、その後他スタッフとの共有、助言を下に活動を実施している。	活動担当を中心にチームで作り上げる仕組みを来年度も行っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	次の日、昼礼にて実施。 全員での当日の振り返りは難しいので、翌営業日の朝礼もしくは昼礼で実施している。 当日振り返りではなく、次日に振り返りを行っている。	引き続き、情報共有に努めて参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動の中でも選べる活動があったりして、選択できるようになっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	児童発達支援事業所からの情報共有をしたり、保育所等の情報から本人の状況や支援内容の共有が出来ていると思う。	移行時には利用児が安心して療育が開始できるよう丁寧な情報収集に努めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		課題発生時等にはご相談・ご助言をいただくこともあります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	図書館や公園などに行く活動を実施している。 コロナの影響後は、ほとんどない状況である。今後は見直す必要がある。	活動担当を中心に活動を計画し、来年度は地域交流の機会も増やしていきたいと思えます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		開催時には1名は必ず参加させていただいております。参加内容は職員に伝達するよう努めております。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	Hugアプリでの情報共有や直接対面で伝え合いながら情報のやりとりができています。	引き続き、保護者との共通理解に努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	おたのしみ会や茶話会など、情報提供の場を設けている。	引き続き、保護者支援に努めてまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		利用開始時に保護者に説明を行っております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会は実施されている。 保護者同士の交流の場、兄弟児支援等は今後行なっていく。 きょうだい同士のみでの交流の機会ではないが、お楽しみ会への参加等による交流の場を設けている。	引き続き、保護者支援に努めてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	ほとんどないに等しいので、今後は検討も必要だと思う。	今年度は、もちつき、おたのしみ会、避難訓練も地域住民も参加型の行事となりました。来年度も引き続き計画してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	全職員に共有できている。	保護者にご協力いただき、服薬依頼書等の提出をお願いしている。また、職員が把握できるよう緊急時の手順等やお子様の状況はすぐ見えるところに掲示している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎朝の朝礼にて全体への周知、昼礼では事業所のスタッフ間で共有と対策を考える場を設けている。 ヒヤリハットにより事業所内の向上を高めている。	引き続き、事故・再発防止に努めてまいります。

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		